

**製品名: TRPC3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19314**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	97kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TRPC3
別名	TRPC3; TRP3; Short transient receptor potential channel 3; TrpC3; Transient receptor protein 3; TRP-3; hTrp-3; hTrp3
遺伝子 ID	7222.0
SwissProt ID	Q13507
免疫原	抗血清はヒト TRPC3 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 411-460

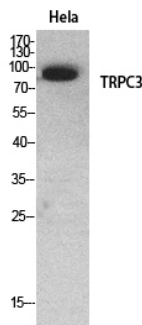
**背景**

一過性受容体電位カチオンチャンネルサブファミリー C メンバー 3 (TRPC3) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、カルシウムなどのカチオンを透過する非選択的チャンネルを形成できる膜タンパク質です。コードされるタンパク質は、受容体チロシンキナーゼ活性化ホスファチジルイノシトールセカンドメッセンジャーシステム、および細胞内カルシウムストアの枯渇によってチャンネル形成が誘導されると考えられます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションがあります。[RefSeq 提供、2011 年 10 月]、機能: 受容体活性化非選択的カルシウム透過性カチオンチャンネルを形成すると考えられています。おそらく、受容体チロシンキナーゼまたは G タンパク質共役受容体によって活性化されるホスファチジルイノシトールセカンドメッセンジャーシステムによって作動します。膜貫通型ジアシルグリセロール (DAG) によって、タンパク質キナーゼ C とは独立して活性化され、また IP3 が結合したイノシトール-1,4,5-三リン酸受容体 (ITPR) によっても活性化される。また、体内のカルシウム貯蔵量の枯渇によっても活性化される可能性がある。類似性: 一過性受容体ファミリーに属する。STrpC サブファミリー。類似性: 5 つの ANK リピートを含む。サブユニット: TRPC1 と相互作用する。ITPR3 と相互作用する。MX1 および RNF24 と相互作用する。組織特異性: 主に脳で発現し、卵巣、結腸、小腸、肺、前立腺、胎盤、精巣でもはるかに低いレベルで発現する。

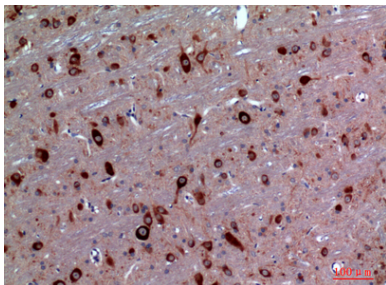
## 研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; カルシウムシグナル伝達; カルシウムチャンネル; 神経科学; 神経プロセス; 神経新生; 心血管; 心臓; 肥大; 血管系; 血管収縮

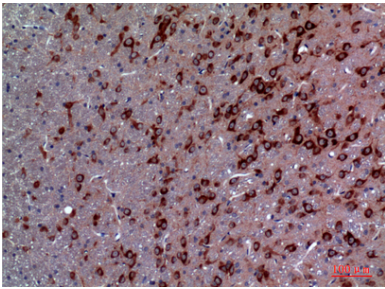
## 画像データ



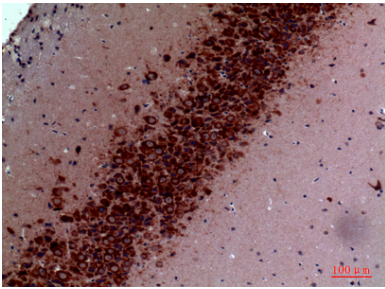
TRPC3 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



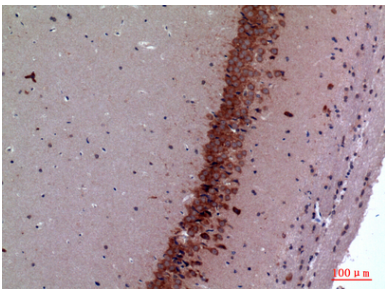
パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された